



文教大学教育研究所  
〒343-8511  
埼玉県越谷市南荻島 3337  
TEL 048-974-8811

# 教育研究所 ニュース

<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>

2016.6 第44号

- 巻頭言
- 2016年度 教育研究所  
研究部・研修部の取り組み
- 2015年度 世界の教科書展  
デジタル教科書展の報告
- 第17回「教員のためのエクセル入門講習会」のお知らせ
- 「定期研究会」発表一覧

## 放課後子ども教室推進事業「地域未来塾」への期待 ～学習者の「主体性」再考～

文教大学教育研究所 所長 今田晃一

貧困家庭が急増していることが大きな社会問題となっており、生活保護受給者数は2015年末に約216万人（受給世帯数約162万世帯）となった。これは戦後最も少ない受給者数（約88万人）となった1995年を境に、新自由主義による構造改革の推進によって貧困と格差が拡がり、近年さらに顕著になったといわれている。それに伴い、子どもの貧困率も増加し、厚生労働省調査によるとおよそ子ども6人に1人が貧困というのが現状である（2015年4月3日朝刊：朝日新聞）。

これらの課題に対して国も様々な施策を行っており、平成27年4月1日に施行された「生活困窮者自立支援法」が全面実施された。中でも文部科学省生涯学習課による「地域未来塾」の取り組みに対する期待が高まっている。複雑化する社会の中で、経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についていない中学生のために、地域住民の力を生かし、「地域未来塾」を開講し学習支援を行うことがその趣旨である。対象は中学生とし、大学生や教員OBなどの地域住民の協力を得て実施する。学校の空き教室を利用し、年間80回、週2回、学習支援員（地域住民）による放課後の個別学習が基本である。さらに2016年からはICT関連企業と連携協力し、さらに質の高い学習支援の場とするために「官民協働学習支援プラットフォーム（仮称）：ICTCONNECT21」サービスを開始した。これは個別の支援とともに、子どもたちが主体的に学ぶ姿勢を身につけるためには更なる学習機会の充実が必要であり、Webサイトとタブレット端末を中心としてICTの活用による、学習者の「主体性」育成についての検証の場でもある。

イヴァン・イリイチは『脱学校論』の中で、学校制度が始まった初期の頃は、学びたいという学習者の気持ちと教えたいという指導者の思いがうまくかみ合って学校教育はうまく機能する。ところが年月が経ち制度が熟し少しずつひずみが出てくると、その課題を何とか解決しようと指導者は教える気持ちがより強くなり、いささか強引に教えようとする。それに対して学習者は、余計なものまで教えられ、無理に学ばされることが徐々に増え、段々と主体的に学ぶという姿勢を失っていく。それが学校、制度というものならば学校というもののあり方を常に見直し、もっと内発的な動機を重視した制度、やり方を改善すべきである。これがイリイチ「脱学校論」のだいたいの骨子である。次期学習指導要領のキーワードを一言で表せば、「主体性」の育成である。成熟した社会、成熟した学校制度の中で、ICT活用の視点から学習者の「主体性」について再考する契機としたい。

## 2016 年度教育研究所 研究部・研修部の取り組み

【教育研究所研究部】では 2016 年度事業計画に基づき、4 つの事業を実施する。

- 1) 『教育研究所年報』第 25 号の発刊。2015 年度の事業報告を中心に研究所の事業活動をまとめた。
- 2) 「定例研究会」の実施。2016 年 10 月から（第 90 回）から翌年 3 月（第 92 回）までの計 3 回。本研究所客員研究員による発表を行う。
- 3) 諸外国の教科書収集。2016 年度はラオス人民民主共和国の教科書を購入する。
- 4) 「世界の教科書展」の開催。2016 年度はドイツの教科書を特集し、本学における藍蓼祭において展示する。

「世界の教科書展(2015 年 10 月 30 日～11 月 1 日)」



- 5) 客員研究員の受け入れ。2016 年度は国内の学術機関（他大学を含む）から計 15 名の客員研究員を受け入れる。

（研究部主任 平 正人）

「第 16 回教員のためのエクセル入門講習会(2015 年 8 月 1 日～2 日／3502R)」

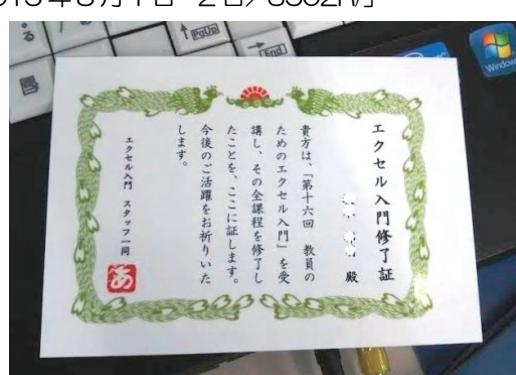


大好評の学生サポーター

【教育研究所研修部】では、2016 年度事業として次のものを予定している。

- 1) 第 17 回「教員のためのエクセル入門講習会」を 7 月 30 日（土）・31 日（日）に実施する。今回は新たな試みとして、土曜の午後スタートとした。これにより多くの教職員が全日程参加できるのではないかと考えている。講師は前回に続き、久喜市立清久小学校の新巻光介教諭にお願いしている。
- 2) 『教育研究所紀要』25 号の発行。本号では特集テーマを「アクティブ・ラーニング～主体的・協働的な学びを求めて～」とし、中央教育審議会が進めている「課題発見と解決に向けた主体的・協働的な学び」に関わる研究論文、実践研究を募集する。併せて従来通りに「自由研究」「教育実践研究」の論文、ノート、報告も募集する。
- 3) 『教育研究所ニュース』44 号、45 号の発行。教育研究所の活動の様子を伝えるニュースペーザーで、今田晃一所長の巻頭言、研究部・研修部の活動報告、定例研究会や講習会、教科書展の案内などを掲載する。
- 4) 『文教大学の授業』56 号・57 号・58 号・59 号の発行。越谷・湘南両キャンパスで活躍する教員の授業を紹介する。
- 5) 教育研究所ホームページの充実。研究所の HP をリニューアルし、さらに利便性と公開性を高めていく予定である。

（研修部主任 加藤 純一）



新巻先生からの修了証

## 2015年度「世界の教科書展」 特集 トルコの教科書 報告

現在、トルコはEU加盟交渉において教育改革という大きな課題を突きつけられている。都市と地方における教育格差、それにともなう教育制度・教育行政の見直しや教育現場と地域社会との連携など、さまざまな教育制度改革が取り組まれているなかで、教科書もまた大きく様変わりしようとしている。今回の展示では、トルコの教科書に実際に触れることで、新たな局面を迎えるようとしているトルコの教育の実情を紹介することを目的とした。

今回収集したトルコの教科書は計125冊になる。内訳は次の通りである。国語(22冊)、算数(13冊)、社会(17冊)、理科(14冊)、英語(18冊)、宗教(19冊)、その他(22冊)(これらの教科書は原則的に貸し出ししていないが、教育研究所での閲覧は可能である)。来場者は、2015年10月30日から11月1日までの3日間で計300名にのぼった。またアンケートの回収率78%(234名)も高く、本学学生・卒業生をはじめとして、保護者ならびに一般来場者から多くの声が寄せられた。

今回の展示パネル解説、教科書の翻訳、トルコの教育事情のミニ講演会にあたっては、長谷部圭彦氏(早稲田大学イスラーム地域研究機構)にご協力をいただいた。この場を借りて厚くお礼を申し上げたい。紙幅の制約があるため、今回の展示内容を全て紹介することはできないが、詳細な解説は教育研究所ホームページに掲載されているので、ご照覧いただきたい。

(<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/kyouken/>)

## 2015年度「世界の教科書展」 特集 トルコの教科書 ミニ講演会

今年度の「世界の教科書展」では、トルコの教科書の展示に加えて、教科書展の監修を依頼した長谷部圭彦氏によるミニ講演会を開催した(10月31日11時30分~12時)。参加者は約30名。

講演会の内容は、トルコという国について、トルコの教育制度、そして教科書から見えてくるトルコの現状についてであり、トルコでは政治的な基盤における宗教のウェイトが非常に大きいことから、教育もまたその影響を多分に受けていること、また軍の存在とその影響力も絶大であることなどを理解することが大切であり、トルコの「いま」を正しく理解するためには、これらのリテラシーを学ぶことが重要であることが強調されていた。

教科書展に関するミニ講演会は、今回が初めての試みではなかった。新たな試みとして、ここ数年実現できていなかったなかで、ミニ講演会の模様をダイジェスト版として動画を編集し、iPadで閲覧できるようにしたことは好評であり、来年度以降も継続して開催していきたいと考えている。

(研究部主任 平 正人)

## 2015年度「デジタル教科書展」

今年度のデジタル教科書展は、学習者用デジタル教科書(東京書籍:算数、1年~6年)を展示了。デジタル教科書は、大きく分けて指導者用デジタル教科書と学習者用デジタル教科書に分けられるが、学習者用デジタル教科書は今年度に一部の教科書会社から先行的に発売されたばかりであり、まだまだ試行的な段階である。

指導者用デジタル教科書は、一斉授業における焦点化・共有化をめざしたものであり、すでに多くの学校で活用されている。一方、学習者用デジタル教科書は、個別学習を想定したものとなっているが、ただ問題を提示するだけでなく、今後の主体的な学びに向けてのコンテンツの提示方法と問題数の充実が課題とされている。

(所長 今田 晃一)



第17回  
教員のための  
エクセル入門講習会

本年度の「教員のためのエクセル入門講習会」は下記の通りの実施を予定している。より多くの教員に全日程参加していただくことを念頭に、初日の土曜を午後からの実施とした。講師は昨年度に続き新巻光介教諭にお願いした。今年も参加者は例年通りに申込み先着順で受け付ける。

- ・日程：2016年7月30日（土）～31日（日）
- ・場所：文教大学越谷校舎3号館
- ・対象：小学校教員　　・定員：40名
- ・注意：2日目（日曜）は学内で昼食購入は不可

## 講習会内容（予定）

月日	研修時間	内容
7/30 (土)	13:00～ 13:10～ 13:20	開講式  「エクセルの紹介」
	13:20～ 14:50	エクセルの基本操作の確認
	15:00～ 16:00	学級会計簿作成
	10:00～ 10:10	本日の実習について
	10:10～ 12:00	エクセルを使っての成績処理
7/31 (日)	12:00～ 13:00	(昼食)
	13:00～ 14:00	エクセルで時間割作成
	14:10～ 15:40	エクセルでのアンケート集計 エクセルでの成績管理シート
	15:40～ 16:00	閉講式

(研修部主任 加藤 純一)

## 公開「定例研究会」発表一覧

## 第90回 10月29日（土）13:00～16:00 8201教室

- ・保育者養成課程における教育方法及びカリキュラムに関する研究 綾 牧子
- ・幼児教育におけるICTの活用のための保育者研修 村山 大樹
- ・iPadを用いた授業づくり  
～算数「一筆書き」を中心に～ 村橋 直樹
- ・社会科教育における地域博物館の活用・連携の再検討 加藤 紫識
- ・ICTを利用したアクティブラーニングの研究  
～情報モラル教育を中心に～ 清水 祥平
- ・iPadを用いた授業づくり  
～アクティブ・ラーニングに向けて～ 長田 朋之

## 第91回 10月30日（土）9:30～13:00 8201教室

- ・若者の社会教育実践を考える  
～青年学級事業に注目して（仮） 阪本 陽子
- ・在宅歯科医療推進への取り組みと認定歯科衛生士の果たす役割について 江田 節子
- ・家庭の教育力向上に関する実証的な研究（1）  
～親役割の取得に着目して 栗原 保
- ・豊かな心を育てる道徳教育の推進（仮） 清水 香保里
- ・4技能の英語力向上を目指した外国語活動の授業改善に関する一考察 川北 雅冬
- ・現代における生涯にわたる学習の持つ意味と「教養」について 青木 大輔
- ・免許更新講習における性の多様性についての講義の実践報告 松嶋 淑恵

## 第92回 3月4日（土）13:00～14:00 1035教室

- ・小学校における武道的身体の育成Ⅱ 小関 友美子
- ・小学校段階でのアクティブ・ラーニングの実践研究  
～児童司会・反転授業の実践と発問工夫による～ 鬼澤 大地

…興味のある方は、どうぞご参加ください…

## 2016年度 教育研究所スタッフ

所長	今田 晃一
研究部主任	平 正人
研修部主任	加藤 純一
事務	紀井 佳奈子